

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月 3日(16:00 ~ 16:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	0人	10人

前回の改善計画	ご家族やご利用者に向けたアンケート調査の結果を今後の参考にし、職員間で周知していく。 初回のアセスメントはケアマネジャーと担当者が聞き取りを行ない、サービス内容を一緒に考え作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果	初回時はケアマネジャーと担当者が自宅へ伺いサービスの確認や、内容をご利用者・ご家族との話し合いをしながら行なってきた。今年度もアンケート調査の結果を見ながら職員間でも共有しながらサービスを提供していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	4	5	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	9	1	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	8	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	8	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者と日々のコミュニケーションを大切に、会話の中からご利用者の気持ちを考え、関係づくりに配慮してきた。 ご家族とも送迎時、又は連絡帳や電話等で連携を取り、信頼関係づくりを心がけてきた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご利用者・ご家族の意向(サービス回数など)に違いがあり、ご家族の意向が優先されている事がある。 ご家族や介護者の不安を出来るだけ軽減できるよう、電話や送迎時を通じて、声に耳を傾けてはいるが、すべてのご家族に対しての配慮が出来ているのかはわからない。また、急な新規の方の対応に対し情報が不十分で職員が混乱してしまうこともあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご家族からの情報は申し送りノートやミーティングなどで確実に職員間で共有し、回覧印を押す。 ご家族やご利用者への返事などが必要であれば速やかに対応する。 ご利用者の確実な情報等は早めに職員に伝え、スムーズにサービスの提供を行えるようにしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月7日（16:00～16:30）

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	3人	0人	10人

前回の改善計画
やりたい事の実現をするために、施設内でも散歩や体操で体力低下の予防を行ない、今までの目標と新たな目標を職員も一緒に見つけ、今後も関わりシートを活用していく。 大きな目標が達成できるように、小さな目標をご利用者、職員とで考え実現するために会話の時間を多く持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果
関わりシートを活用し、ご利用者のできること、やりたいことを職員と一緒に考え目標達成に向けて日々ご利用者との関わりの時間を過ごした。 外出できる機会は少なかったが、その分ゆっくりとご利用者と話をする時間ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	6	4	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	7	3	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	5	5	0	10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	7	3	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	日々の何気ない会話の中から、ご利用者のやりたい事・希望を感じ取り、職員間で共有し計画書の作成や目標を立て支援してきた。関わった内容は生活記録などの記録から振り返り、次の支援に繋げるよう対応した。各担当者が、ご利用者の「～したい」の実現のために、ご利用者の思いを聞きながら一人ひとりとの時間を作り関わる事ができ、ご利用者の笑顔を引き出すことができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	意欲低下の方や、認知症の方の「～したい」を聞きだすことが難しくなっている。 又、ご利用者の思いを知り実現することができた方もいるが、そうでないご利用者もいられ「～したい」がわからない方の思いを導き出すことが難しく感じた。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ご利用者の思いに沿った支援が出来ているか、関わりシートを活用し再度考える機会をもつ。 また新たな目標を職員と一緒にみつけ、「～したい」の実現に向けて、それぞれ何ができるか具体的な関わり方について各担当者が考え実行する。また、担当者だけが目標を知るのではなく全職員がわかるように関わりシートに目を通して回覧する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月9日(16:00 ~ 16:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画
生活歴を再度見直しをしながら、ケアプランの目標に少しでも繋げられるように、ご利用者との会話の時間を持つ。 センター方式D-1を今年度も活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
今年度もセンター方式D-1(私ができること・私ができないことシート)を活用しご利用者をさらに理解することができた。会話の中から新たな情報を得た時は、職員間でも情報の共有を行ってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	6	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	8	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	2	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ご利用者の日頃の様子をよく観察し、常に体調や顔色、声色や気持ちの変化に気付いた時、チームで話し合い生活記録や申し送りノートを活用しながら共有出来ている。 特に独居のご利用者の方は体調に合わせてサービスの切り替えを行ったり、ご家族とも相談し連携も取れていた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	新規のご利用者の方や、認知症のご利用者の方の情報収集や本当の思いの把握が思うように出来ないことがある、自宅での生活環境の理解がご利用者によって情報量に差がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	会話の中から得た情報はきちんと書類に残し、職員間での共有に繋げていく。 生活環境の理解を深めるとともにご利用者の思いを反映した具体的な取り組みを考えるためセンター方式D-1を継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月11日(13:00~13:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画
自宅での過ごし方を会話の中から伺い、今できる事がこれからも継続して行えるよう、暮らしの様子や情報収集に関わりシート、センター方式D-1に追記していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
訪問時や通い時に自宅でどのように過ごされていたか、困りごとはないか等会話の中から話を伺い、情報収集を行ってきた。 関わりシート・センター方式D-1も活用し、変更時や追記などは別の職員が見てもわかるように記入した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	1	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	4	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	3	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	7	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご家族や介護者と関係が切れないうコミュニケーションを密にとり、必要時連携を取りながらご利用者を支え支援してきた。 送迎時や訪問時、地域の方と挨拶を交わし、生活の様子などを聞き、他の職員と情報を共有することが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
独居のご利用者は、地域からも孤立しやすく以前のような地域との繋がりが薄くなっているのではないかと思う。事業所が直接接していない時間の過ごし方の把握ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
必要な地域資源の情報収集を行い、職員間で共有していく。 自宅での過ごし方に目を向け、今できることは何か、会話の中から見つけだし、関りシートを活用し今後に繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月14日(13:00~13:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画

もう一度、各担当者が訪問内容のマニュアルの見直しを行い、誰が見てもわかりやすく内容をまとめ、統一した支援が行えるようにしていく。
 ご利用者の思いに少しでも寄り添いながら、話に傾聴し、ご家族にもご本人の思いを伝えられる場面を担当者会議を活用して作る。

前回の改善計画に対する取組み結果

訪問マニュアルは、その都度変更があった時は赤字で記入し、誰が見てもわかりやすく統一した支援が行えるようにした。
 ご利用者の思いを伝える機会を担当者会議の場だけでなく、ケアマネジャーからご家族に電話にて連絡をしたり、送迎時などで話をする機会を作った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	4	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	5	5	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	6	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	9	1	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 急なサービスの変更にも、ご利用者の状況に合わせて「通い」「訪問」「宿泊」を柔軟に対応している。一部のご利用者の方ではあるが、地域の方や関係機関などと連携し資源を利用しながらサポートできている。又、地域資源が何があるのかエコマップを作成したことで本人を取り巻く人間関係や関わりの理解を深めることが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ご利用者よりも、ご家族のニーズが優先される事があるため、ご利用者のご希望に添えられない事があった。記録の内容も不十分で、読み返したときに必要な情報が記入されていないこともあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

連絡帳でのご家族とのやり取りを工夫していく。一日の様子だけではなくご利用者の声を記入するなどして思いを伝えられる場面を増やす。
 記録の書き方は、5w1H(誰が・何を・いつ・どこで・どんな目的で・どのように)を重視してわかりやすい記録を残す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月16日(13:00～ 13:00)

6. 連携・協働

メンバー 5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	6人	0人	10人

前回の改善計画	<p>回覧板等で回ってきた書類は玄関や事務所前のテーブルに情報として掲示し、職員もイベントや地域の情報を知る機会を作る。 今年も地域交流会を計画し、地域から事業所を知ってもらえる機会を作る。 [令和元年9月こしじ保育園児来所予定]</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>今年度も地域交流会を実施し、地域との交流できる機会をもつことができた。 回覧板等の書類の内容も玄関前のテーブルに掲示し職員も地域の情報を知ることが出来た。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	5	2	3	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	5	4	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	4	3	3	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	5	5	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>オレンジカフェや予防事業を通じて、登録者以外の高齢者・子供との交流が定期的に行なわれている。他の事業所とサービス担当者会議にて情報交換や検討が行われ、きちんと書面にて職員にも伝達されている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>毎年、地域のクリーン作戦や、地域の運動会には積極的に参加できているが、町内会でのその他のイベント、会議などには理事長・副理事長しか参加できておらず、把握していない。 ご利用者の担当者会議にも参加出来た職員とそうでない職員がいた。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域の活動やイベントについての内容を職員間で確認し把握する。 できるだけ会議等には担当職員が参加し多職種で連携し担当者会議を開催できるよう調整する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月18日(13:00 ~ 13:30)

7. 運営

メンバー 5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	2人	1人	10人

前回の改善計画	事業所での大きなイベント、ちまき作りや、納涼祭にも参加して頂けるよう、ご家族やご利用者への案内文だけでなく回覧板やポスター等で、地域の方が目で見てわかりやすいようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は準備が整わず回覧板やポスターの準備ができなかったが、ご家族やご利用者の方には案内文にて行事への参加をしていただいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	5	5	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	1	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	4	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	7	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日頃のミーティング時や、月1回の全体会議などで意見など発言できる機会がある。 ご利用者、ご家族の意見や苦情を伺った際は直ちに職員間で周知し迅速に対応している。報告書を記入し改善点を考え反映できるようにしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方からの意見や苦情を直接伺うことがなく、把握できていない。 地域と協働した取組みという点では不十分である。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) できるだけ現場の職員も運営推進会議に参加してもらい地域の方の情報を聞いたり、関わりを持つ機会を作る。 事業所は災害時等の避難場所でもあることやAEDを設置している事業所であることを地域の方に周知してもらうために民生委員や包括支援センターの方々に協力をいただく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月21日(16:00~16:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画
防げる事故を防ぐ為のヒヤリハットなんだという意識を持ちながら、 気づきを大切に、小さなことでもヒヤリハット報告書を記入していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
小さなことでもヒヤリハットにあげることで大きな事故につながることなく過ごすことが出来た。 口頭での申し送りや、情報交換が目につくため、きちんと文章に残すことを意識していくように職員に伝えていかなければならない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	9	1	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	6	3	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	8	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	9	0	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個々のスキルアップを図るために年間計画を立て、研修に参加する事が出来た。 ヒヤリハットがあった時、職員間で周知し、事故に繋がらないよう話し合いを持ち、再発防止に取り組んだ。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
リスクマネジメントに取り組み、再発防止に努めていたが、同じような内容のヒヤリハットが起こる事があった。書面に残す意識が足りていないと感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
月に一度の勉強会はこれまで通り確実に続け、職員一人ひとりのスキルアップを目指す。 気づきを大切に小さなことでもヒヤリハット報告書を記入していく。朝の申し送り時を活用し、早期に職員間で周知できるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月24日(13:30 ~ 14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	1人	0人	10人

前回の改善計画	不適切ケアに対する定期的な意識づけが大切。そういった研修があれば職員にも参加してもらい、日ごろからも、職員同士声をかけ合い注意し合える環境を作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	その都度、職員同士声を掛け合い、注意できる関係づくりが以前より出来てきてはいるが、まだ完全には不適切ケアが改善されたとは言えない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	3	0	0	10
②	虐待は行われていない	7	3	0	0	10
③	プライバシーが守られている	3	6	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	5	5	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	4	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 虐待についての研修を受けたり、職員全体で会議のテーマにあげ職員間でも意識づけが出来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 難聴の方に対しての配慮が出来ていない。特に排泄時の声掛けやスピーチロックなど無意識なうちにプライバシーにかけていることがある。 ご利用者の近くでの申し送り、会議などがありプライバシーが守られているとは言えない。 日常生活に支援事業を利用されている方はいるが、成年後見制度を活用されている方がいない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 拘束・虐待・グレーゾーンについては引き続き研修などで繰り返し学習し意識を高めていく。 プライバシーに関わるようなことは、日々自分ならどうしてほしいかを常に置き換えて対応することを心掛ける。職員同士の会話に気を付けながら、注意しあえる関係づくりを作る。
---------------	--